



明・和・新・聞

明和記念病院

〒870-0165
大分市明野北1丁目2番17号
TEL.097(573)1000第28号
～夏号～

みなさん、はじめまして



医師 麻生 昭子

本年4月1日から明和記念病院に勤務しています。まだお会いできていないご家族様には、この場をお借りしてご挨拶申し上げます。

大分市内の高校から「大分医科大学」に進学し、医師となってから今年で15年目です。専門は「神経内科」ですが耳慣れない方も多いと思います。対象となるのは、脳・脊髄・末梢神経・筋肉などが障害される疾患です。当院には脳血管障害（脳出血・脳梗塞）の後遺症やパーキンソン病・認知症など神経内科領域の病気を患っている方がたくさん入院しておられます。患者様が安心して療養生活を送ることができますよう診療に取り組んでいきたいと思います。宜しくお願ひ致します。



明和俳句

晴れた日にやや下向きな桐の花
紫陽花の今を盛りと恋しぐれ

山村哲雄

ただいまリハビリ中!!

リハビリ 川上 佳織

明和記念病院では、入院中の患者様が意欲的にリハビリに取り組んでいます。理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等とともに、日々リハビリに励み、一日も早い身体機能の回復・在宅復帰等を望まれています。

今回は、その中の一人で、ネット手芸に熱心に取り組んでいる安部ツヤ子様を作成した作品とともにご紹介したいと思います。

ネット手芸とは名前のとおり、ネットに紐を通してていく工程が主な作業活動です。初めは難しいという方が多いですが、基本的に繰り返しの作業なので、慣れてくるとどんどん進められる方がほとんどです。糸の色を変えたり、模様を変えてレベルアップしていくことができます。糸の種類や素材、模様（編み方）によって出来上がりが大きく変わってきますので、同じ形のものを作っても変化を楽しめ、年齢・性別を問わず、多くの方々に人気です。安部さんは、ティッシュケースを作成しており、熱心に取り組んでいます。ネット手芸という作業活動を通じ、手指の巧緻性の維持・獲得、認知機能の維持を目的として取り組んでいます。また、作成段階での他患者との交流・完成した作品をプレゼントするという事で得られる満足感・趣味や生きがいといった精神的への働きかけとしても用いています。完成すると安部さん自身も周りの人も笑顔になり、安部さんの周りにはいつもたくさんの人が賑わっています。今後も作業活動（ネット手芸等）を通じ活動的な生活を送って欲しいと思います。



ニューフェイス



デイケア 衛藤 奈々子

5年前に1年くらい介護の仕事をしていましたが、出産や子育てで介護を離れ今回久しぶりに介護に戻ることが出来ました。デイケアは初めてで、入社して早1ヶ月わからない事だらけで、先輩方が細やかなことまで優しく教えてくださり、介護に戻れて毎日が本当に充実しています。今の気持ち笑顔を忘れず、利用者様の立場に立って、何事も考えられる明るい介護士を目指し、仕事と子育ての両立を頑張ります。幼い子供が2人いるため、皆さんにたくさんご迷惑をおかけすると思いますが、これからも宜しくお願ひします。



リハビリ 磯田 祐

当院に入職し1ヵ月が経過しましたが、覚えるべき業務が多くあり、日々学ぶことばかりです。

私が担当するのは3病棟になるので、見かけた際はぜひ気軽に話しかけて下さい。これから随時患者様を担当させて頂くので、元気を大事に頑張っていきたいです。接していく中で不安等がありましたら遠慮なくおっしゃって下さい。それらの声から学び、お役に立てるよう日々向上心を持ち、業務に精進していきますので宜しくお願ひいたします。



3病棟 楠田 知子

当院に入社して1ヵ月が経ちましたが、まだまだ戸惑うことばかりです。スタッフの皆さんのが親切に教えてくださるので、一日も早く戦力になれるようにがんばっていきたいと思います。

これからもご指導宜しくお願ひします。



4病棟 高橋 綾夏

私を幼いときからずっと可愛がってくれた祖父が、1月の上旬に胃がんと告知され、中旬に手術を受けました。その間私は、学校が終わってから、毎日祖父に会いに行きました。私が寂しいとき、いつも慰めてくれた祖父です。胃がんと宣告され、約9ヶ月が経ちましたが、いずれ全身に転移してしまうと思うと、悲しい気持ちでいっぱいです。祖父の着替えを手伝っていると、「こんな仕事をしたい」という気持ちが

強くなり、当院に入社しました。最初は自信がなく、仕事が続けていけないかと思いましたが、患者さんの笑顔、感謝の言葉などを受け、やりがいのある仕事だな、頑張ろうと思いました。介護福祉士の資格を取って、患者さんや病院から頼りにされる職員になりたいです。

